

県本部第113回定期大会

日時：2023年10月13日(金) 13:00～
14日(土) 11:30
会場：郡山市「ホテル華の湯」
議案：2024年度運動方針(案)、2024年度
一般会計・特別会計予算(案)ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第843号

2023年(令和5年)

9月30日

福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人澤村英行

がんばろう福島

自治労第97回 定期大会

本部新執行体制がスタート

8月28日～30日の3日間にわたり、自治労本部定期大会が開催された。4年ぶりに参加者数に制限がない対面開催となった今次大会には、全国から3,400人の代議員・傍聴者が出席し、活発な議論のもと、向こう2年間の新たな運動方針が確立された。また、新執行部の役員選挙が行われ、石上千博中央執行委員長を筆頭とする新執行体制が確立された。

本部定期大会冒頭、川内議員・岸真紀子(立憲民主党比例代表)を擁立することを提案された。「前」へ進める運動を呼ぶ。質疑・討論では43県本部1社保労連が発言。その後、採決が行われ、すべての議案が賛成多数で可決された。

また、役員選挙が行われ、新中央執行委員長に石上千博さん(北海道・富良野市労連)が選出された。なお、6期12年にわたる本部役員(書記次長2年・書記長2年・委員長8年)を務めた川本淳前中央執行委員長は今年で勇退することになった。

県本部発言概要

運動方針の中では「財政事情や担い手不足で、専従役員数を減少させている県本部がある」との実態について触れられている。福島県本部も、内局専従役員に欠員が生じている。本部では、立候補の年齢要件の段階的引き上げのため、自治体職員の定年延長を踏まえた規程改正等の対応が進められている。一方で、役員推薦委員会の申し合わせでは、本部役員の推薦について「原則として、60歳以上の新任は推薦しない」、再任については「運動の継続性、人材確保のため推薦を行う場合」が重要だ。本部にお

いても、「参院選だから」ではなく、普段からの学習の機会や、器材の提供をお願いしたい。8月24日よりトリチュム汚染水の海洋放出が始まった。「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」との約束を反故にし、また、被災地・被災者の思いを踏みにじるものである。福島県本部は、県平和フォーラム

本部答弁

60歳以上の役員就任の方針について、本部としての考えはこの間説明してきたとおりである。今回も、県平和フォーラムに続き、海洋放出を無視した政府、東電の対応は決して許されるものではない。福島県本部、平和フォーラムと連携して取り組んでいく。

一般の制度見直しをしっかりと運用していく。また、県本部によっては役員体制に関する課題があることも承知しているし、各県本部における対応は、それぞれの実態、運動の継続性の観点を踏まえ、判断願いたい。

政治活動については、普段からの議会報告や学習会の積み重ねが大事である。本部としては引き続き要請に応え、学習会等の対応を進めていきたい。

地元漁業者の「賠償よりも漁業をしたいだけなのだ」との思い、漁連の海洋放出反対の意向を無視した政府、東電の対応は決して許されるものではない。福島県本部、平和フォーラムと連携して取り組んでいく。

八巻由美さん(福島市職労)再任

役員選挙では、石上千博中央執行委員長以下全員が信任された。福島県本部からは、引き続き、八巻由美さん(福島市職労)が中央執行委員に信任され、9月から総合企画総務局長の新たな任に就いている。八巻さんはこれまで強化拡大局長や労働条件局長など、組織強化や賃金・労働条件の改善といったさまざまな自治労運動の根幹を担ってきた。そして、新たな任務は自治労運動の中核を担う立場となる。福島県本部の組合員の皆様には、新執行体制へのご支援をお願いする。



退任された川本 淳 前中央執行委員長



新たに就任された石上 千博 中央執行委員長



発言する草野 文恵 県南総支部事務局長

今年統一自治体選の年だが、取り組みを通じ実感するのは、組合員、特に若年層に対する政治参画意識を醸成することの重要性である。福島県本部も、政治学習会などを開催している。「選挙だから」ではなく、普段から政治闘争の必要性を組合員に丁寧に説明することが重要だ。本部にお

～私の名刺④～

自治労共済福島県支部事務局長
齋藤 浩昭
(福島市職労)

「やさい増し、たまねぎ、にんにく、カラメ」

二郎系ラーメンほど好みに分かれるラーメンはないと思います。大量の極太麺(ワシワシ)、チャーシュー(豚)、やさい(もやし・キャベツ)、濃いスープ、ボリューム満点で食べ応えがあり満足感が得られることから、コストパフォーマンスが高いと評価される一方で、「麺の量が多すぎる」「スープが濃すぎる」「トッピングのバランスが悪い」などラーメンとは言い難い物との意見もあります。また、味もさることながらトッピングの呪文のような注文の仕方や後ろに立たれた時の背後霊からプレッシャー等、初めて食べに行くには戸惑うこともありますし、勇気も必要となります。

私が初めて二郎系ラーメンを食べた時には、普通のラーメンのイメージで注文し、大盛りをやさい増しにしてしまい、完食できず撃沈、二度と食べないと思いつつも、なぜか無性に食べたくなる時があります。そんな時は、福島市内の某店に行って、「ヤサイ増し、玉ねぎ」(健康を考え野菜を多めに)「にんにく」(疲労回復)「カラメ」(味が濃いのが好き、血圧高いのに)とトッピングしてしまいます。

会津若松市には「ラーメン二郎」がありますし、県内各地に二郎系ラーメンがあります。お店によって味やトッピングの種類も違いがありますので、県内各地の二郎系ラーメンの食べ比べをしたいと思っています。

まだ食べたことのない方は、自分の好みのトッピングでボリューム満点で美味しい、二郎系ラーメンをおなかを空かして、ぜひ一度試してみてください。

引き続き本部中央執行委員を担う八巻由美さん

統一自治体選挙終盤！ 県議選における自治労福島県本部推薦予定候補者

白河市・西白河郡選挙区



み むら ひろ たか
三村 博隆
(立憲民主党・現職2期・53歳)

福島市選挙区



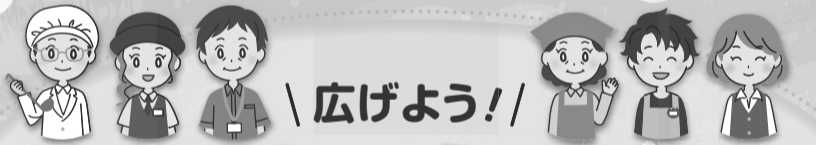
はん ざわ ゆう すけ
半沢 雄助
(立憲民主党・新人・37歳)

南会津郡選挙区



わた なべ ひで あき
渡部 英明
(無所属・新人・56歳)

自治労組合員のみなさんへ



たすけあいありがとう

キャンペーン期間
2023.10.1▶2024.5.31
※抽選は2回に分けて実施します。

自主福祉運動は、組合員自らの手で「助け合い」を形にする共助の運動です。自治労は、非営利の生活協同組合である「じちろう共済」の各種共済を助け合いの共済として推進しています。「じちろう共済」は、2023年6月に「こくみん共済 coop」と統合10周年を迎え、自治労はさらに助け合いの輪を広げるために「広げよう!たすけあい ありがとうキャンペーン」を実施します。

組合活動に参加してキャンペーンに応募しよう!

キャンペーン期間中に、組合で開催する自主福祉運動や共済制度に関する学習会等へ参加していただいた組合員を対象に「抽選」で賞品を進呈します。また、抽選キャンペーンへの応募1件につき、100円を子ども食堂に寄付します。詳しくは組合までお問い合わせください。

抽選で賞品が
当たる!



世界的大人気/
Hydro Flaskのボトル

あなたの参加が
子ども食堂への
寄付に!



 **自治労本部 共済推進委員会**



交渉に臨む県公務員共闘会議の交渉団

県公務員共闘会議・県人事委員会交渉 勧告に向けた考えを質す

県公務員共闘会議は、(労県本部)から県人事委員会・紺野香里事務局長との交渉を行った。交渉の要請書提出。「県人事委員会勧告は、県職員のみならず市町村等で働く紺野事務局長より要求に

対する回答があった。賃金については、すべての職員への賃金及び支給月数の引き上げなどを求めたが、「本年の勧告・報告の取扱いについては、地方公務員法の趣旨に基づき国や他の地方公共団体の動向、民間給与実態調査の結果等を十分考慮しながら、総合的に検討して参る」と従前の回答にとどまった。一方で、会計年度任用職員の賃金・手当について常勤職員との均衡・権衡をはかるよう求めたことに関しては、「常勤職員との権衡を踏まえて定めることとされており、任命権者において制度の趣旨を踏まえて運用がされている」と一定程度、要求趣旨を踏まえ

た考えが示された。回答を受けた後、今年度の県人事委員会勧告の方向性等について質した。県人事委員会はこれらの状況を調査・分析中、「国や他の県状況も注視しながら検討する」など従前の回答に終始した。一方で、勧告の時期については「概ね例年通り」と回答しており、10月4日頃を目安としていることをうかがわせた。

県人事委員会勧告後、いよいよ2023秋季確定闘争が本格化する。賃上げ・労働条件改善に向け組合員の団結と、各単組における要求―交渉―妥結―妥結結果の書面化の実践をお願いする。